



## ○ 縁

この前一週間のうちに懐かしい人と立て続けに3人出会う(再会する)ということがありました。初めの一人は20年前の中学生です。休みの日に道の駅に行き、昼食をとろうとしてカウンターに行くと「先生でしたよね。」と声をかけられました。簡単な会話をして食べ始めましたが、その子の名前を思い出すことに一生懸命になっていました。名前の候補が二つあがりました。食べ終わり、再度会話をしたときにはっきりわかったのでほっとして話の続きをしてよい雰囲気のまま別れました。声をかけられるのは照れ臭いですがうれしいですね。このほかにもこれまでいろいろなところで“見られて”いると思います。先生というのは見られる仕事ですね。

二人目は電車で帰宅途中のことです。駅が近づいてきたので席を立ち、ドアのところまで来てみると、あるお坊さんも降りようとしていました。目が合ってしばらくして、「〇〇さんですね。」とお互いが声を掛け合いました。その方は38年前に私が女子バスケットボール部の新米顧問だった時に貴重なアドバイスをいただいた方です。そのおかげでその困難(バスケは素人の私)を乗り越えることができました。お互い還暦を過ぎていますので風貌は双方とも変化していますが、声はかつての雰囲気でした。

三人目はある懇親会でのこと。お開きとなり帰ろうとしていると声をかけられました。「専門が美術ということだったのでひょっとしたらと思いました。」とのこと。新米教師の時に初めて担任した学年の一人でした。44年前のことですね。会話の中で知っている名前がいくつも出てきて昔のことが思い出されました。当時は失敗をたくさんしていたので思い出したくない部分もありますが、声をかけてくれたということは私自身が思っているよりも失敗ではなかったからかなとちょっぴり嬉しくなりました。

それにしても短い日数のうちに続けて3人も再会するとは！何かよいことがある？

## ○ 自校自賛

日本料理の講師としてYC校に来ていただいている「割烹いちはな」(防府市)の青木一郎先生がこのたび第33回技能グランプリ内閣総理大臣賞を受賞されました。2年に一度開催されるこの大会ですが、これまでに銅賞や銀賞を受賞されていました。そしてこのたびの栄誉となったわけです。おめでとうございます。学校で実習授業を担当される際、学生たちに是非ともこのときのことをお話いただければと思っています。ちなみに左の若者は今年YC校を卒業していちはなに就職した学生です。



植物：これまで数回YC校のチューリップの成長を紹介していますが、KC校では玄関で観葉植物の花が咲いています。今回はその成長段階を紹介します。それぞれの生命を大切にしたいと思いますね。

